

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

CLIPPEDIMAGE= JP406000139A

PAT-NO: JP406000139A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06000139 A

TITLE: HEIGHT ADJUSTING DEVICE FOR WASHBOWL

PUBN-DATE: January 11, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

OOMORI, MINETERU

SHIBATA, MASAMI

KUROKAWA, RYUZABURO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

INAX CORP

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP04183062

APPL-DATE: June 17, 1992

INT-CL (IPC): A47K001/02

US-CL-CURRENT: 4/645

ABSTRACT:

PURPOSE: To constitute the washbowl so that its indoor side has a shapely and beautiful view without exposing the driving device to the indoor side by providing the driving device which can move vertically a wall panel on the wall panel on which a washbowl is fixed and provided.

CONSTITUTION: A wall panel 3 for supporting a washbowl 1 can be moved vertically, and motor-driven jacks 10, 10 are driven by a motor and move vertically a lot 10a. In connection therewith, a panel frame 3b is guide by slide guides 9, 9 and can move in the vertical direction.

That is, the wall panel 3 moves vertically, and the washbowl 1 is moved vertically to an arbitrary height position. In this regard, the slide guide 9 and the motor-driven jack 10 are installed in a corner cabinet of the side to which the wall panel 3 is attached.

COPYRIGHT: (C)1994, JPO&Japio

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-139

(43)公開日 平成6年(1994)1月11日

(51)Int.Cl.⁵

A 47 K 1/02

識別記号

庁内整理番号

7150-2D

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全4頁)

(21)出願番号

特願平4-183062

(22)出願日

平成4年(1992)6月17日

(71)出願人 000000479

株式会社イナックス

愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地

(72)発明者 大森 峰輝

愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 株式

会社イナックス内

(72)発明者 柴田 正美

愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 株式

会社イナックス内

(72)発明者 黒川 龍三郎

東京都新宿区西早稲田3丁目30番16号 株

式会社ジイケイ内

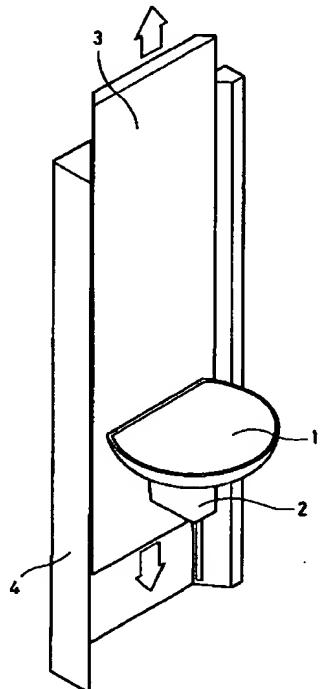
(74)代理人 弁理士 清水 義久

(54)【発明の名称】 洗面器の高さ調節装置

(57)【要約】

【目的】 洗面室等の室内側をスッキリとした構成にでき、かつ洗面器を良好に高さ調節できる高さ調節装置の提供を目的とする。

【構成】 洗面器1を固設した壁パネル3に、該壁パネル3を上下動し得る駆動装置を設けて構成する。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 洗面器を固設した壁パネルに、該壁パネルを上下動し得る駆動装置を設けたことを特徴とする洗面器の高さ調節装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は洗面器の高さを自在に調節できる調節装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術及びその課題】従来、洗面器の高さを任意に調節するために、洗面器の下部に、洗面器を上下動させるための駆動部を設けたものがあるが、洗面器の下部に存在する駆動部が露出して、洗面器を設置した洗面室内の美観が損なわれ、見栄え性が悪くなるという問題点があった。

【0003】

【課題を解決するための手段】本発明は上記従来の問題点に鑑み案出したものであって、見栄え性が良好で、かつ洗面器の高さを良好に調節し得る高さ調節装置を提供せんことを目的とし、その要旨は、洗面器を固設した壁パネルに、該壁パネルを上下動し得る駆動装置を設けたことである。

【0004】

【作用】壁パネルに洗面器を固設し、この壁パネルを上下動し得る駆動装置を設けたため、駆動装置は壁パネルの裏側等に設置することができ、壁パネルそのものを上下動させることにより良好に洗面器の高さを調節することができる。

【0005】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。図1は洗面室の要部斜視構成図であり、洗面室の壁面を構成する壁パネル3に洗面器1が所定位置に固設されており、この洗面器1の下部にはトラップ部2が設けられており、この洗面器1を支持する壁パネル3が上下動可能なものとなっており、壁パネル3の両側面は傾斜状に形成した傾斜部3a、3aとなっている。

【0006】一方、この壁パネル3を取り付ける側方のコーナーキャビネット4は、傾斜部3aに対応する傾斜面となっており、さらに側方の壁パネル5も傾斜部3aに対応した傾斜部5aを形成したものとなっており、前方側から壁パネル3をコーナーキャビネット4と壁パネル5間に介装させることができる。壁パネル5の下部には、アンダーキャビネット8上に副洗面器7が設けられており、壁パネル5の右側面にはコーナーキャビネット4が設けられている。また、床面側にはベース6が配設されており、このベース6には前記洗面器1のトラップ部2が入り込むことのできる凹部6aが形成されている。

【0007】図2は、洗面器1を固設した壁パネル3が上下動する状態を示す要部斜視図であり、この壁パネル

3を上下動させる駆動装置として、例えば図3または図4に示すような構造が採用される。すなわち図3の場合には、壁パネル3の裏側の補強材を構成するパネルフレーム3bは枠状に形成されており、その中央部には、前記洗面器1をボルト等を介し固設させるための支持フレーム部3cが一体形成されており、パネルフレーム3bの両側方にそれぞれスライドガイド9、9が立設されており、このスライドガイド9、9の各側方には電動ジャッキ10、10が立設されており、各電動ジャッキ10の上端のロット10aがパネルフレーム3bに連結されている。各電動ジャッキ10、10はモーターにより駆動されて、ロット10aを上下動させることができるものであり、各電動ジャッキ10が駆動されることにより、ロット10aの移動に伴ってパネルフレーム3bはスライドガイド9、9にガイドされて上下方向に移動することができる。すなわち壁パネル3が上下動して、洗面器1は任意の高さ位置に上下動される。なお、スライドガイド9および電動ジャッキ10は前記コーナーキャビネット4内に内装させておくことができる。

【0008】また、図4に示す構造では、コーナーキャビネット4および壁パネル5側にスライドガイド9、9を取り付けておき、この一対のスライドガイド9、9内にパネルフレーム3bを上下動可能に嵌め込み、パネルフレーム3bの支持フレーム部3cの裏側に油圧シリンダ12を連結させたものであり、油圧シリンダ12は支柱11に取り付けられている。このような構造でも、油圧シリング12を電動または足踏み式で作動させてパネルフレーム3bを上下動させることができるものである。その他、上下動を行なわせる駆動手段として、ピニオンとラックの噛み合わせ機構等を採用することができる。このように、図3および図4の駆動装置は、側方の壁面または壁パネル3の裏側等に配置させることができて、室内側からはこれらの駆動装置を隠すことができ、室内側のスイッチ操作等により壁パネル3を上下動させて、これに固設された洗面器1の高さを良好な位置に自在に調節することができる。

【0009】したがって、例えば、背の低い子供が洗面器1を使用する場合には、壁パネル3を下方に移動させて洗面器1の位置を低い位置に調節することができ、この場合はトラップ部2がベース6の凹部6a内に嵌まり込む。また、背の高い大人の場合には、壁パネル3を上昇させて洗面器1を高い位置に設定することができる。また、本例の駆動装置では、従来のように洗面器の下部に駆動部が存在しないために、洗面器1の下部を抉らせた形状にすることも容易であり、洗面器1の下部に良好に足を入れる空間を確保することができ、洗面器1の使用状態が良好なものとなる。

【0010】

【発明の効果】本発明の洗面器の高さ調節装置は、洗面器を固設した壁パネルに、該壁パネルを上下動し得る駆

3

動装置を設けたことにより、壁パネル自身を上下動させることにより、洗面器の上下調節が可能となり、従来のように駆動部を洗面器の下部に設ける必要がなく、駆動装置は壁パネルの裏側等に隠蔽させた状態で配置させることができ、室内側には駆動装置等が露出することなく、室内側をスッキリとした美観のある構成とすることができる効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】洗面器を設置した状態の洗面室の要部斜視構成図である。

【図2】洗面器を固定した壁パネルの上下動を説明する斜視構成図である。

【図3】壁パネルの上下動を行なう駆動装置の一例を示

4

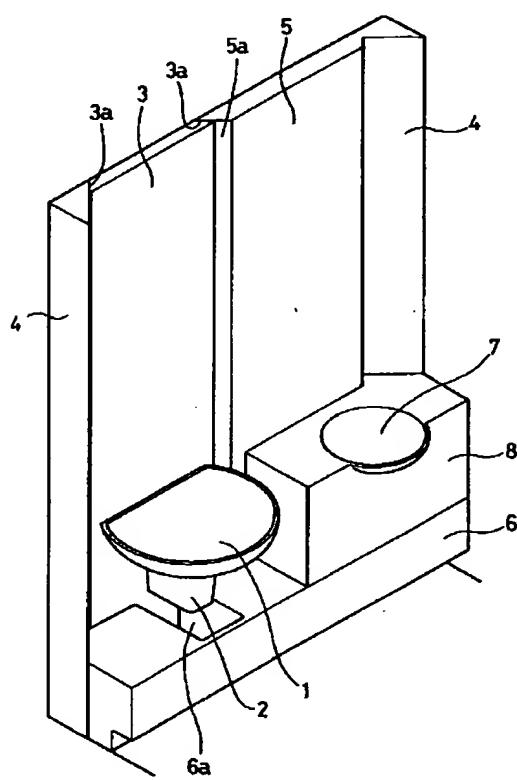
す斜視構成図である。

【図4】駆動装置の他の例を示す斜視構成図である。

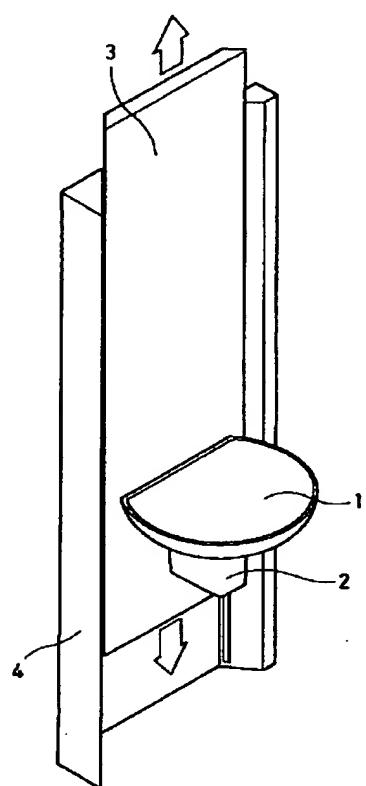
【符号の説明】

- 1 洗面器
- 2 トラップ部
- 3 壁パネル
- 4 コーナーキャビネット
- 3a パネルフレーム
- 3c 支持フレーム部
- 5a パネルフレーム
- 9 スライドガイド
- 10 電動ジャッキ
- 12 油圧シリンダ

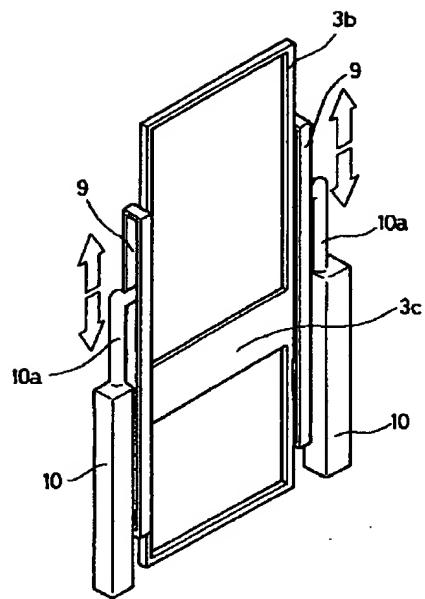
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

